

令和5年度

ルート協議会の新規応募

---

どうなん海道サイクルルート

令和6年2月21日

道南サイクルツーリズム推進協議会

# かい どう どうなん海道サイクルルート(基幹ルート) ルート概要

## ○道南サイクルツーリズム推進協議会

- ・事務局 一般社団法人どうなん自転車倶楽部
- ・構成員 市町(2市12町)、観光協会、自転車関係団体、シーニックバイウェイルート民間会社、大学、振興局、開発局等(56団体)

## ルートの魅力

### ○キャッチフレーズ

津軽海峡・日本海・太平洋を8の字で結ぶ『歴史』と『風景』を楽しみながら巡るサイクルルート

### ○主な経由地

- 世界遺産: 北海道・北東北縄文遺跡群「垣ノ島遺跡、大船遺跡」
- 日本遺産: 歴史的建造物群を有する「いにしえ街道」
- 北海道遺産: 五稜郭と箱館戦争の遺構、福山(松前)城と寺町、函館山と砲台跡、函館西部地区の街並み
- 自然公園: 大沼国定公園、檜山道立自然公園、松前矢越道立自然公園、恵山道立自然公園
- 主な景勝地等: 駒ヶ岳、さわらフラワーロード、活火山恵山、オクシリブルーの海、滝瀬海岸(シラフラ)、重内さくらロード、サラキ岬など

### ○その他

積上げてきた取組を継続し、道南一帯の地域の魅力を発信し、地域観光を進めて行く

## ゲートウェイ(ルートへの入口となる拠点施設)の考え方

ルートへの入口となるゲートウェイは、以下の機能を有した8か所を設置(抜粋)。

- ①北斗市観光交流センター別館 ほつくる(新函館北斗駅そば)**  
機能: トイレ、水分補給、休憩スペース
- ②津軽海峡フェリーターミナル**  
機能: トイレ、水分補給、休憩スペース、ロッカー
- ③青函フェリーターミナル**  
機能: トイレ、水分補給、休憩スペース
- ④函館観光案内所(函館駅内)**  
機能: マップの配布、サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、ロッカー
- ⑤函館空港**  
機能: マップの配布、サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、空気入れ、ロッカー
- ⑥道の駅みそぎの郷きこない(木古内駅そば)**  
機能: マップの配布、サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、レンタサイクル、空気入れ、ロッカー
- ⑦江差港フェリーターミナル**  
機能: サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、空気入れ、ロッカー
- ⑧奥尻港フェリーターミナル**  
機能: サイクルラック、トイレ、水分補給、休憩スペース、空気入れ、ロッカー

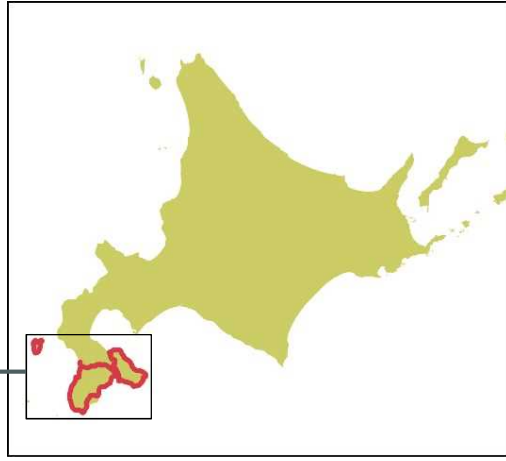


道の駅みそぎの郷きこない



函館空港

- ・全長約459km
- ・通過市町村:  
北斗市、七飯町、函館市、鹿部町、森町、木古内町、知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町、乙部町、厚沢部町、奥尻町 (全14市町村)



# かい どう どうなん海道サイクルルート ルート概要

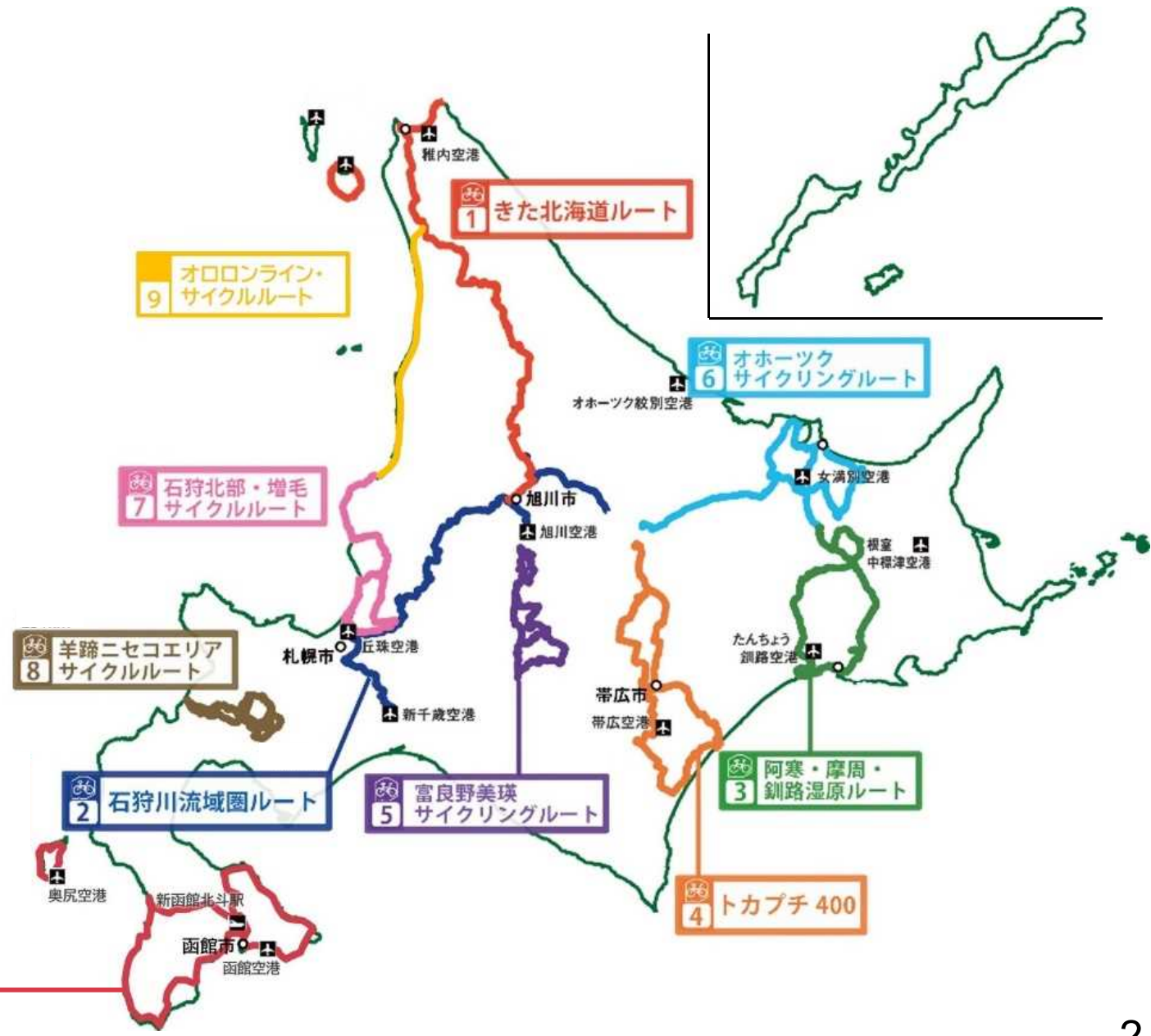
## ルート概要

- **キャッチフレーズ**
  - ・津軽海峡・日本海・太平洋を8の字で結ぶ『歴史』と『風景』を楽しみながら巡るサイクルルート
- **延長**
  - ・東ルート約168km、西ルート約234km、奥尻島ルート約57kmの全長約459km
- **通過市町**
  - 東ルート: 北斗市、七飯町、森町、鹿部町、函館市
  - 西ルート: 北斗市、木古内町、知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町、乙部町、厚沢部町
  - 奥尻島ルート: 奥尻町
- **ルートの特徴**
  - ・世界遺産である北海道・北東北縄文遺跡群、津軽海峡・日本海・太平洋と大沼・恵山・奥尻島の絶景、函館や松前・いにしえ街道の歴史的建造物群、桜や花に囲まれた道など、魅力的な観光資源が点在し、道南地域の『歴史』と『風景』を8の字で巡ることができる
- **主な経由地(観光資源)**
  - 【歴史】
    - ・世界遺産: 北海道・北東北縄文遺跡群「垣ノ島遺跡、大船遺跡」
    - ・日本遺産: 歴史的建造物群を有する「いにしえ街道」
    - ・文化遺産: 松前神楽
    - ・北海道遺産: 五稜郭と箱館戦争の遺構、福山(松前)城と寺町、函館山と砲台跡、函館西部地区の街並み
  - 【風景】
    - ・自然公園: 大沼国定公園、檜山道立自然公園、松前矢越道立自然公園、恵山道立自然公園
    - ・主な景勝地: 駒ヶ岳、さわらフラワーロード、活火山恵山、オクシブルーの海、滝瀬海岸(シラフラ)、北海道夜明けの塔、サラキ岬、じゃがいも畑、重内さくらロード、きじひき高原など

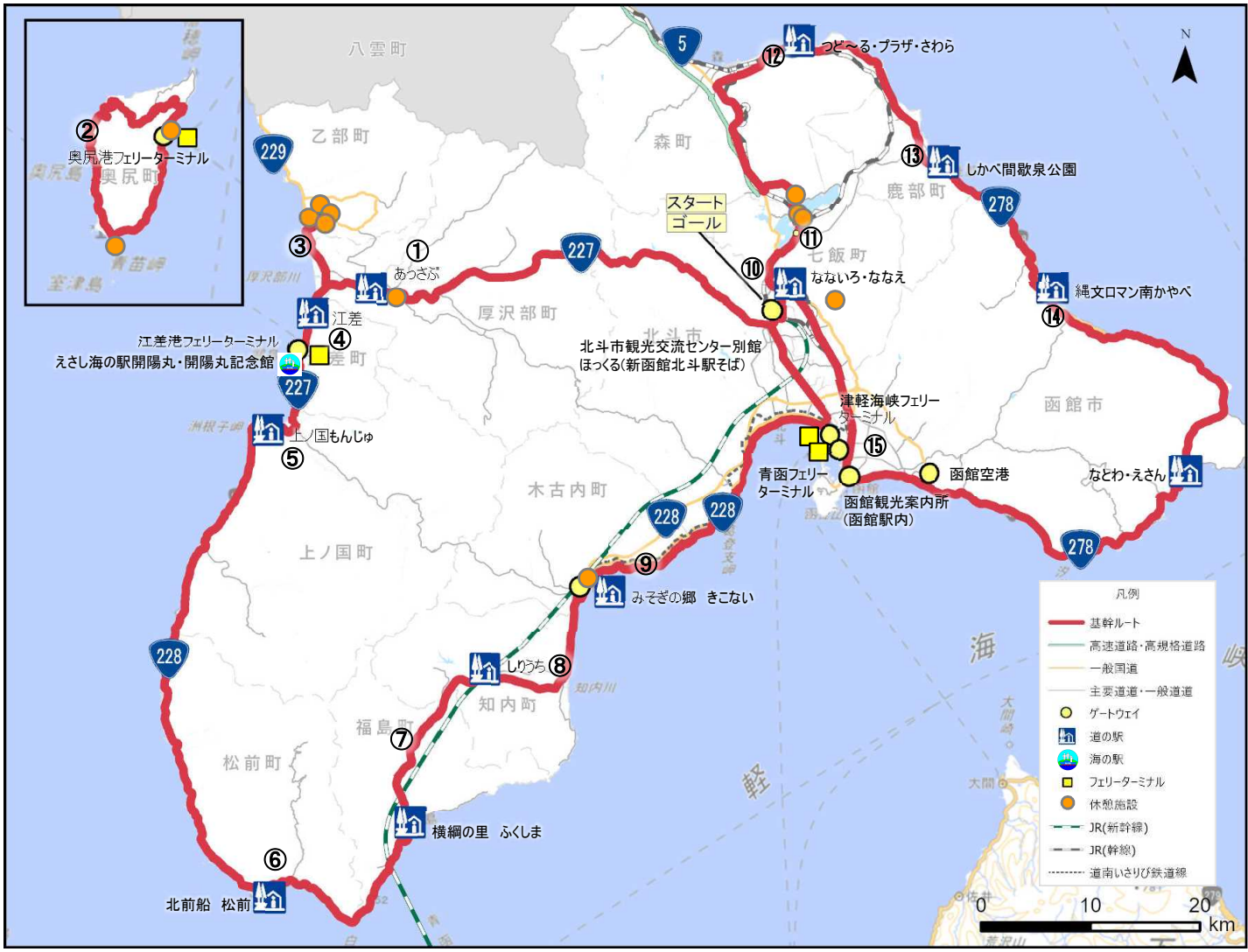
**道南待望のサイクルルートは  
全ルート最長の459km!**

**どうなん海道サイクルルート**

## 北海道のサイクルツーリズム サイクルルート



# かい どう どうなん海道サイクルルート ルート概要



# かい どう どうなん海道サイクルルート(基幹ルート) 活動概要報告(案)

## ルートが考えるターゲット

### ○ルートが考えるターゲットについて

- ・当ルートは、全長約「459km」のサイクルルートで、道南地域の「歴史」と「風景」が楽しめるルート。
- ・陸・海・空のゲートウェイを有することから、北海道の玄関口として、国内外のサイクリストが長期滞在で楽しめるルートとして提案していきたい。
- ・豪華客船が停泊することから海外の富裕層も対象と考えている。



渡島西部ルート  
(江差町)



渡島東部ルート  
(函館市)



北海道の玄関口  
(新函館北斗駅周辺)

## 現在、力を入れている取り組みについて

### ○走行環境や受入環境、情報発信等で現在力を入れていること

- ・基幹ルートの休憩場所として、約「20km」間隔に「道の駅」・「海の駅」等があり、施設としての利活用と連携。
- ・地域の公共交通機関との連携や地域企業との連携。
- ・SNSやYouTubeの活用、HPを基に発信。
- ・ロゴマークやサイクルジャージの活用、PR。今後、インバウンド客向けのお土産の商品開発を検討。



道の駅へのラック配置



道南いさりび鉄道の乗車試行



HPIによる情報発信



ロゴマークの作成



サイクルジャージによるPR

## 将来(次年度以降)取り組んでいきたいことについて

### ○今後の活動予定や地域からの要望、要求など

- ・基幹ルートの走行環境整備。
- ・レンタサイクルの仕組みづくり、拠点づくりと整備。
- ・函館バスで制作したサイクルバスの認知度の向上と活用。
- ・エリアサイクルガイドの育成と普及、スキルアップ。
- ・サイクリスト応援カーの整備検討。



注意喚起路面標示  
(新中山トンネル)



観光協会でのレンタサイクル  
(道の駅 みそぎの郷 きこない)



サイクルバスの活用  
(函館バス)

## 課題について

### ○現在、直面している課題について

- ・自転車利用者の安全性とマナーの向上。
- ・ツアー客・インバウンド客の受入体制とガイド支援・育成。
- ・受入環境・走行環境整備に対する協力体制の確保。

### ○将来、取り組みたい事項に関する課題について

- ・道南全域でのレンタサイクル導入・整備と仕組み、一帯でのサイクル観光の推進。
- ・来訪者や地域の方でも気軽に楽しめるサイクリングルートを目指した環境整備。



走行安全講習の取組の様子



観光庁インバウンドサイクル  
ツアーへのガイド協力



サイクルガイド養成講座

# 函館管内のサイクルツーリズムに関する動向

○管内において、サイクルツーリズムに関する様々な取り組みを実施。

## 北海道のサイクルツーリズム 推進方針に関連する活動

2017年度

道南の自転車愛好家等による「どうなんチャリンコ倶楽部」の結成  
道南西部地域を一周する基本コース(木古内町→知内町→福島町→松前町→上ノ国町→木古内町)の設定

2018年度

「歴史・文化を活かした南北海道サイクルツーリズム推進協議会」設立  
歴史・文化を活かした着地型サイクリングコースの企画・検討・試走

2019年度

商品化を見据えたサイクリングコースの検討(新たに6コース検討試走)

2020年度

どうなん自転車倶楽部(旧どうなんチャリンコ倶楽部)に改名。新たなコースの企画・検討・試走(道南東部)

2021年度

基幹ルートの試走 案の作成

2022年度

アドバイザー委員によるルートの試走

道南サイクルツーリズム推進協議会に改名(歴史・文化を活かした南北海道サイクルツーリズム推進協議会)

事務局のどうなん自転車倶楽部が一般社団法人登録

2023年度

北海道サイクルルートへの申請

## 市町の活動

2017年度 道南西部地域を一周するサイクリングルートを実走し、各地域の着地型体験観光メニューとの連携  
自治体への協力支援の要請

2018年度 道南エリア2市8町を含む41団体で推進協議会設立  
シーニックバイウェイ事業道の駅連携事業により9町の道の駅等にラック・工具の設置  
サイクリングツアー・自転車観光ガイドセミナーの開催、地域コースパンフレット作製  
Webサイトの作成、サイクリングコースの可視化、SNSの活用等での情報発信  
JALホームページへのコース掲載(青森との連携)

2019年度 ガイドシステムの検討・ガイド養成セミナー実施  
プロモーション・セールスコールの実施(国内、台湾欧豪等)  
インバウンド連携サイクリングツアー開催(台湾招聘ツアー)

2020年度 道南エリア2市12町を含む54団体となる  
青森連携サイクリングツアー開催(津軽海峡マグロ女子会とのコラボ)  
ガイドシステムの構築とガイド養成セミナー2回目開催  
エリア連携した地域コース冊子作成

2021年度 公共交通(いさりび鉄道・函館バス)との融合をテーマにサイクリングツアーを開催  
企業(宿泊施設)とのコラボレーション企画・検討  
地域コースの散走及び資源調査  
檜山エリアの飲食店及び道の駅等へのラック等の設置

2022年度 企業との連携をテーマにしたサイクリングツアー開催  
地域企業との商品開発  
ガイド養成セミナー3回目開催  
基幹コース試走と各市町への提案  
アドベンチャートラベル商品造成事業走行及びプレサミット実証踏査走行  
道のクラウドファンディングによるエリア内の道の駅等4カ所へのラック等の設置

2023年度 サイクルガイド強化ツアー開催  
ATWS北海道2023PSAエリア開催 ペルー・南アフリカ・ネパール等から7名参加  
散走によるガイド実践スキルアップ

# 函館管内のサイクルツーリズムに関する動向

## 道南サイクルコースツアーの継続実施

協議会では、「松前・江差の歴史文化探訪サイクルツアー」を2017年から継続的に開催し、今後も場所を変えてツアーを企画していきます。

**松前・江差の歴史・文化探訪 サイクルモニターツアー**  
2泊3日

2018年10月6日(土)～10月8日(月) 2泊3日

2名(2名一室利用) 大人一人一室 29,800円(税込)  
1名(1名一室利用) 大人一人一室 39,800円(税込)

●参加人数 20名(申込受付人数) 申込締め切り 申込受付期間 申込受付時間 申込受付場所 申込受付方法 申込受付期間 申込受付時間 申込受付場所 申込受付方法

●参加費 申込 8:15 道の駅 みそぎの郷こいね前

●利用車両 1泊目 温泉旅館矢野 (松前1～2名一室利用) 2泊目 ホテルニュー江差 (江差1～2名一室利用)

月日	行程	行程	行程	行程	行程	行程	行程
10月6日(土)	松前市(1)	松前市(2)	松前市(3)	松前市(4)	松前市(5)	松前市(6)	松前市(7)
10月7日(日)	松前市(8)	松前市(9)	松前市(10)	松前市(11)	松前市(12)	松前市(13)	松前市(14)
10月8日(月)	松前市(15)	松前市(16)	松前市(17)	松前市(18)	松前市(19)	松前市(20)	松前市(21)

松前・江差の歴史・文化探訪サイクルモニターツアー  
(2018.10.6～8 木古内町・知内町・福島町・松前町・上ノ国町・江差町 協議会主催)



松前・江差の歴史・文化探訪 サイクルモニターツアー  
(2018.10.6～8 福島町他 協議会主催)



台湾招聘ツアー 台湾から6名参加  
(2019.10.3～5 木古内町他 協議会主催)



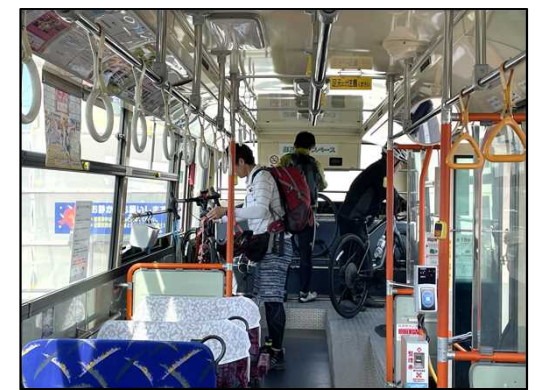
青森連携サイクリングツアー 津軽海峡マグロ女子会とコラボ  
(2020.10.2～4 松前町他 協議会主催)

## 公共交通との連携

函館バスが2019年4月に自転車を後方にそのまま搭載できるバスを国内でも先進的に造成し、定期運行や貸切使用を実施しています。道南いさりび鉄道が2021年から列車へそのまま自転車を乗車する試行を始めています。これらの公共交通機関を用い、サイクルツアーを開催しています。



函館バス利用の様子  
(2019.7.14 丹羽サイクルツアー道南エリア 協議会主催)



函館バス利用の様子  
(2023.10.2 ガイド強化ツアー 協議会主催)



道南いさりび鉄道利用の様子  
(2022.10.1 JTB主催ツアーと協議会コラボ)



道南いさりび鉄道利用の様子  
(2021.7.31 サイクリングツアーの事前調整 協議会主催)

# 函館管内のサイクルツーリズムに関する動向

## サイクリングガイドの育成

エリア内では、サイクリングツアーガイドの有資格者育成のため、日本サイクルツーリズム推進協会の講師によるサイクリングツアーガイド育成講座を開催し、ガイドの育成を行っています。2019年度から現在までに3回、18名がガイド認定を受けています。



サイクリングツアーガイドの有資格者育成講座  
(2020.8.8 江差町 協議会主催)



サイクリングツアーガイドの有資格者育成講座  
(2022.5.14~15 江差町 協議会主催)

## サイクリスト受入環境向上

函館市内や北斗市内のホテルで、サイクリングを楽しむための宿泊プランの商品化や、サイクリストが宿泊しやすい空間提供を行い受入環境向上を図っています。



自転車の客室内への持ち込み  
(2023.4 函館市内ホテル)

## サイクルラックの設置

受入環境整備のため、基幹ルート沿線の道の駅、海の駅、ゲートウェイ等にサイクルラックの設置を進めています。  
(道の駅: 11ヶ所、海の駅: 1ヶ所、ゲートウェイ: 5ヶ所、休憩施設: 12ヶ所 設置済 2023.12現在)



えさし海の駅(2018 どうなん・追分  
シーニックバイウェイルートの活動で設置)



道の駅「つど〜る・プラザ・さわら」  
(2023 北海道サイクルオアシス事業で設置)

## 地域企業との連携事業

サイクルツーリズムの地域への浸透を目的に、企業と連携した活動を行っています。  
江差町の老舗和菓子店「五勝手屋本舗」と連携し、羊羹を補給食とする商品の開発を実施しています。



企業と連携し補給食として商品開発した羊羹  
(2023 江差町 協議会連携)



# 函館管内のサイクルツーリズムに関する動向

## 地域によるツアーの開催

地域の観光協会では、市内観光・体験型ツアー・新幹線からの乗り継ぎ列車待ちの客層を狙ったEバイクツアーを企画する等、地域による様々なツアーが開催されています。

農業等の自然体験や観光地巡り等を行うツアーで、自然を体感できる移動手段としてEバイクを利用	
2023/10/12	<p>「人」と「食」をつなぐ旅 ファームトゥテーブル(モニターツアー)</p> <p>参加人数:5人</p> <p>経由地:新函館北斗駅出発～大野川沿い大ケヤキ～ライスセンターの景観～六輪村～文月ワイナリー～八郎沼～白石農園～鈴木牧場牛乳～新函館北斗駅着</p>
2023/10/20～22	<p>北海道で「動と静」のプログラムを体感し心と身体を整え再生させる「HOKUTO Retreat」(モニターツアー)</p> <p>参加人数:3人</p> <p>経由地:1日目・北斗星スクエア～湯の沢水辺公園～トマト王国 宗山農園～北斗星スクエア～鮭の遡上見学～矢不來天満宮～北斗星スクエア</p> <p>2日目・北斗星スクエア～当別 風の丘～ルルドの洞窟～NAMIKOI JAPAN～当別 風の丘～星空観察</p> <p>3日目・当別 風の丘～北斗星スクエア</p>



2023.10.12 Eバイクを用いた体験型ツアー「北斗市観光協会」主催



2023.10.20～22 Eバイクを用いた体験型ツアー「北斗市観光協会」主催

## サイクルマップ・PR動画の作成

自治体や協議会では、サイクリストを呼び込むために、サイクリングマップやPR動画を作成し、YouTube等で公開し、地域の魅力を発信しています。

**CYCLE TOURISM SOUTH HOKKAIDO**

サイクリングポート&サイクリスト

チャリ旅みなみ北海道沿い等に点在する「サイクリングポート&サイクリスト」では空気を吸いながらサイクリングの楽しさを味わうことができます。また、サイクリングの楽しさを味わうことができます。

●道の駅 道の駅 道の駅  
●道の駅 道の駅 道の駅  
●道の駅 道の駅 道の駅

サイクリングマップ(協議会)



サイクリングマップ(北斗市)



PR動画(七飯町・森町・鹿部町)

## プロモーションの実施

HPやSNS等、各種情報媒体による積極的な情報発信を行っています。台湾のTVでも紹介され、海外へのアピールにつながっています。



協議会のHP



台湾のTVでの紹介

# 函館管内のサイクルツーリズムに関する動向

## 走行会の実施

基幹ルート全体や複数の市町において、魅力のあるサイクルルート開発のために試走会や意見交換会を実施しています。

### 基幹ルート全体

基幹ルート策定に向け、基幹ルート案を試験走行した後にミーティングを実施



試走後に策定した基幹ルート(案)



新函館北斗駅(北斗市)



試験走行(松前町)



道の駅なわ・えさんでのミーティング(函館市)

2022.8 道南サイクルツーリズム推進協議会主催

### 七飯町・森町・鹿部町

地域の方に基幹ルート案の魅力を体験してもらうため、試走会を実施



試走会の状況(森町)



駒ヶ岳を望む(森町)



自転車積載可能バスの利用

2023.10 七飯町・森町・鹿部町  
函館開発建設部主催

### 函館市・北斗市・知内町・木古内町

自治体と連携し、散走や地域コースの試走により資源調査を実施



トラピスト修道院(北斗市)



トラピスト修道院(北斗市)



函館散走から  
青の洞窟  
クルーズコース

Route Date

移動時間 1泊2日  
移動経路 函館→北斗→知内→木古内  
総距離 約134km  
難易度 初級・中級レベル

異国情緒にあふれる  
函館西部地区を散走し、  
道南の秘境をクルーズで巡る  
盛り沢山の1泊2日コース



2021 函館市・北斗市・知内町・木古内町  
どうなん自転車倶楽部主催

### 木古内町・松前町・江差町

アドベンチャートラベルワールドサミット北海道2023(ATW)プレサミットアドベンチャー(PSA)のコースの提案とサイクルガイド・地域ガイドを実施



木古内駅(木古内町)



コースの走行状況

2023.9 木古内町・松前町・江差町  
アドベンチャートラベルワールドサミット北海道主催

# 【別紙】道南サイクルツーリズム推進協議会 会員

## ○道南サイクルツーリズム推進協議会

- ・事務局 どうなん自転車倶楽部 長沼 孝征
- どうなん自転車倶楽部 劔持 英明
- 一般社団法人北海道開発技術センター 佐藤 好子
- ・構成員 市町村、観光協会、自転車関係団体、  
          民間会社、大学、振興局、開発局等(56団体)

## 構成員

自治体	函館市、函館市戸井支所、函館市恵山支所、函館市榎法華支所、函館市南茅部支所、北斗市、七飯町、森町、鹿部町、木古内町、知内町、福島町、松前町、上ノ国町、江差町、厚沢部町、乙部町、奥尻町
観光協会	北斗市観光協会、(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会、木古内町観光協会、知内観光協会、福島町観光協会、(一社)北海道まつまえ観光物産協会、上ノ国町観光協会、江差観光コンベンション協会、厚沢部町観光協会、奥尻島観光協会、(一社)七飯町振興公社、(一社)木古内公益振興社
大学	国立大学法人北海道教育大学函館校
民間	株式会社JTB北海道事業部函館オフィス、函館バス株式会社、道南いさりび鉄道株式会社、JAL 日本航空株式会社 函館支店、ANA 全日本空輸株式会社 函館支店、ハートランドフェリー株式会社、津軽海峡フェリー株式会社、青函フェリー株式会社、北海道旅客鉄道株式会社函館支社、道南うみ街信用金庫、有限会社スピード商会、ホテルラジエントプラザ函館北斗(ABアコモ株式会社)、HAKODATE男爵倶楽部ホテル&リゾート、五稜郭タワー株式会社
団体	(一社)北海道江差観光みらい機構、(一社)北海道開発技術センター、(一社)シーニックバイウェイ支援センター、(一社)どうなん自転車倶楽部、自然倶楽部、函館・大沼・噴火湾ルート、どうなん・追分シーニックバイウェイルート
行政	北海道運輸局函館運輸支局、北海道渡島総合振興局、北海道檜山振興局、函館開発建設部